

慶応三年六月十日より慶応三年六月十四日まで

P8310690right

来りし旨、監_二小川来る坂地挙家移住の頃合承り合せ也

十一日巳 雨

宅調、室本(治)、和田(重)、宮原(寿)来り面す、保三母小品持来、昨夕サトウよりの書、御殿
為持出す

山本(長)来る山内昌三の義頼聞け

十二日午 雨意

大久保他州来り、古川(才)の義に付頼談有し、松本(甚)来り面す、猪瀬(豊)残として反物持来
却けて不

受、宅調、番町へ五郎帰着、賀旁無音見舞に行く、藤兒例_二に来る、種々享帰り、正_二革桃実を
持来り来る、極_二橋を招き落語せしむ、ぶん_二兼吉をも呼ぶ、塚原(但)、井上(伎)、山本(長)姑とも
招待す山本(長)より餞として煙草二管(は_二)贈らる箱館山本(希)より暑中状へ越し□一箱添届く、
番町より

P8310690left

明日御用召吹聴状来る、燈明台御買上の義、返翰案御城より廻り来る、ぶん兼吉一泊

十三日未 雨意夕細雨

昨御殿より廻来り候書翰案、内田(恒)へ廻す、古川(才)、有泉(□)、小長谷(勉)、島田(瑚)
来り面す、内田(恒)

来る、過済廻せし書翰案の議による、富沢叔母来り我旅行の為に、八幡社へ禱りしとて符(*)_二供
物等

持来、出 殿、番町へ名代として太郎を遣し賀として上下地遣す、岡本(せき)蒸菓子持来
亀_二次郎志願筋申聞る一杯を勧む、燈明台代価引合の義に付、明日英館より相越様、壱岐殿
御沙汰の趣、御殿より達し来る

十四日申 晴雲

暖度八十五度(摂氏 29.4 度)

昨夕の達も有し、托痾、宅調、山本(長)来り星野(幸)外壱人逢の義頼聞る、墨邸へ小梅村□成
残為_二?

*1:符(やや)草の実の皮 (漢字辞典より)

□印は解説未了の文字です。私の実力ではすぐ解説できません。